

第50回に向け目覚める龍神

第49回信州・御代田龍神まつりが7月29日(土)、開催されます。龍神は真楽寺を皮切りに、駅前、龍神の杜公園円形広場と舞台を移し、多数の舞い手により巨大な体をくねらせ空を舞います。龍神太鼓「鼓響」の演奏が、祭りに華を添えます。

昨年は3年ぶりに通常開催、と考えておりましたが、コロナ禍により直前で観客なしの開催に切り替えざるを得ませんでした。今年は4年ぶりの通常開催がかなうよう、お天道様をお願いするばかりです。

昨年発足した企画部会の皆さまのおかげで、今回はいろいろと趣向を凝らしたお祭りとなります。小学1～3年生対象のジャンボかるた大会、小学4～6年生対象の謎解きゲーム、中学生向けには本格的な早押し機を使ったクイズ大会を開催。中部横断自動車道の早期全面開通を期して、沿線自治体を中心に集まり物産を販売する「御代田はるばるバザール」も楽しそうです。

来年は第50回の記念大会となります。今年はその助走の位置づけもあり、今後のまつりの方向性も決まってくるのではないかと思います。第50回に向け、町民皆さまのアイデアをいただければ幸いです。

9月3日まで開催中の浅間国際フォトフェスティバルも「町民応援団」の皆さまのおかげで毎週末を中心に楽しいイベントが多数開催されます。8月16日に開催予定の小田井宿まつりは当地が中山道沿いに発展したことを思い起こさせてくれる機会となることでしょうか。私も多くの皆さまとお話できることを楽しみにしております。

Shin ri shi Vol.29
心 理 師 「つながる、つなぐ」
Oka moto Nao to
岡 本 直 人



町の心理師、岡本です。

今回は「連携」についてのお話。ここでいう「連携」とは、適切なサポートをするために共通理解をしたり、関係先・関係者へ紹介したりするという意味です。

まず私は教育委員会に所属しているので、児童生徒の保護者はもちろん、御代田町の学校の先生と連携することが最も多いです。ただし学校の先生と一口に言っても、色んな立場の先生がいます。私の場合は担任の先生だけでなく、教頭先生や特別支援コーディネーターの先生、保健室の先生、学びの教室の先生、指導主事の先生、支援員の先生によく相談しています。さて、いま紹介したなかに聞いたことがない立場の先生がいたかと思ひます。それらの先生方はまた別の機会に紹介しようと思ひますが、いずれにせよ沢山の先生方と「連携」をしています。

学校以外では保育園・幼稚園の相談において、保育士の先生や町の保健師と「連携」することがあります。さらに、町外の学校(小・中・高)や園に通う児童の場合、公立・私立を問わず、町外の学校や園の先生方と「連携」を図ります。さらにさらに教育機関にとどまらず、児童館や社会福祉協議会、児童発達支援、放課後デイサービスの福祉・療育機関、病院・クリニックなどの医療機関、町内外の各法人・民間組織の方々、民生委員の方々、県のスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーなどの団体・人々とも「連携」をとっています。

このように町の心理相談ではチームプレーがとて大切になってきます。特に最近では、町外あるいは教育機関以外との「連携」が増えてきているように感じます。人とつながる、人へつなぐことも重要な心理業務の1つです。

問い合わせ先 教育委員会学校教育係 (32)9100

道路交通法により

自転車のヘルメット着用が「努力義務化」

自転車に乗る人すべてヘルメットの着用を!

本年4月1日から道路交通法の改正により、すべての自転車利用者のヘルメット着用が努力義務となりました。従来は13歳未満の子どもを対象に、保護者が着用させるよう努めなければならないとされてきましたが、これからは年齢問わず、自転車に乗る人すべてが対象に。バイクではないのに必要?と思う人もいるかもしれませんが…ヘルメットは必要です!

自転車での死亡事故の約半数は頭部損傷によるもの。このことから分かるように頭部を保護することはとても重要で、ヘルメットをかぶっていたことで、命が助かった人もいます。

長野県警によると平成30年～令和4年のデータから交通事故発生時に、ヘルメットを着用しなかった人の致死率は着用者の約2倍も高く、ヘルメットは自分の命を守るために必要不可欠なものです。

交通ルールを守り、安全に自転車を利用することももちろん、ヘルメットを着用することで、万が一の事故に備えましょう。



問い合わせ先 総務課庶務係(32)3111

男女共同参画

テーマ

ワーク・ライフ・バランスはなぜ必要?

仕事と生活の望ましいバランスは個人によって違います。また、子育て、親の介護を行う時期など人生の各段階に応じて変わってきます。そのため、個人の置かれた状況に応じた多様な働き方を選択できることが重要となります。

あなたもチェック!ワーク・ライフ・バランス度 ○をつけよう!

Q1	自分のライフスタイル・ライフステージに応じた働き方ができていると感じている	
Q2	仕事をしていて「成果があった・充実感があった」と思える	
Q3	夫婦(家族)で家事や育児・介護を分担している	
Q4	日々の生活が「楽しい・充実している」と思える	
Q5	日々、優先順位をつけて計画的に仕事をしていると言い切れる	
Q6	子育てや介護の負担を軽くしたり、仕事等と両立するためのサービスを利用できている	



あなたはいくつ○がつきましたか?

6 つ…「ワーク・ライフ・バランスの達人!」

4つ以上…「まずまずです。もう一息!」

3つ以下…「仕事と生活を振り返って見直してみよう!」